

# 兵庫県立大学先端医工学研究センター 第11回学術交流講演会

The 11th AMEC Research Seminar

2018年2月8日(木) 18:00 ~ 19:00 姫路ターミナルスクエア2階会議室

FEBRUARY8, 2018, 0600PM-0700PM@HIMEJI TERMINAL SQUARE BLDG. 2F SEMINAR ROOM

講師

桑原 教彰 (くわはら のりあき) 先生

京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科  
先端ファイブロ科学専攻 教授



## 感性、メディア、ロボットの認知症介護への活用

私は10年以上、高齢認知症の方を情報通信技術で支援する研究に従事してきました。そして介護施設であるグループホームに入居直前、直後の高齢認知症の方(本人)を取り巻く悲劇的な状況を見てきました。家族は介護で疲弊し無関心となり、知らない空間へ無理やり押し込まれた本人は介護スタッフとの関係性を構築できず孤立無援となるのがしばしばです。そこで私は、介護施設が本人の安らぎの空間になるよう、心地よい記憶を形成する補助が可能なシステムを研究開発したいと考えました。認知症者は短期記憶を残すことは困難ですが感情の記憶は残ります。過去の記憶だけでなく現在の生活での様々なバーバル、ノンバーバル情報を記録し断片を紡ぎ、本人が幸せを感じる記憶の形成を補助するのです。これら記録は支える側が本人の記憶のエビデンスとして共有することもできます。これによって本人のQOL向上、介護負担感の軽減を実現したいと考えました。そして研究を進めていくうちに、ポイントとなるのは非日常の演出であることに気が付きました。感性、メディア、ロボット技術を使って非日常を演出し情動の記憶に働きかける、認知症ケアとしてのレクリエーションのデザインについてお話しさせて頂きたいと考えております。

主催

兵庫県立大学先端医工学研究センター

Language(言語):

Japanese(日本語)

参加申込先(先着順):

兵庫県立大学先端医工学研究センター (info@amec-hyogo.org)

お名前, ご所属, 交流会参加の有無を**2月1日(木)**までにご連絡ください